

執筆者一覧

龔 月婷	人文学研究科	ジェンダー学
岸川 あゆみ	人文学研究科	ジェンダー学
龔 媛媛	人文学研究科	日本語教育学
梶村 哲矢	人文学研究科	西洋古典学
朱 莉	人文学研究科	中国語中国文学
田 泰昊	人文学研究科	映像学
趙 書心	人文学研究科	日本文化学
劉 嘉勇	人文学研究科	日本語教育学
塩田 宝澍	人文学研究科	インド哲学
山田 祐也	人文学研究科	言語学
南部 正裕	人文学研究科	哲学
山内 昇	人文学研究科	英語学
加藤 真生	人文学研究科	日本史学
鄭 悦	人文学研究科	応用日本語学
王 雲姣	人文学研究科	日本語教育学
盤 媛	人文学研究科	東洋史学
矢越 藍子	人文学研究科	西洋古典学
劉 士沢	人文学研究科	中国語中国文学
李 炯周	人文学研究科	日本史学
孟 醒	人文学研究科	中国語中国文学
王 会欣	人文学研究科	日本語教育学
龐 龍傑	人文学研究科	言語学
薛 晨	人文学研究科	中国語中国文学
楊 慶慶	人文学研究科	文化人類学
曹 榮峻	人文学研究科	日本文化学
陳敏	国際開発研究科	国際多元文化学
WANG Ying	人文学研究科	美術史学
GUTIÉRREZ CERVANTES, Lenin Emmanuel		
	人文学研究科	日本文化学
高松 世津子	人文学研究科	文化人類学
市川 遥	人文学研究科	日本文化学
高畑早希	人文学研究科	日本文化学
鬼頭祐太	人文学研究科	日本語学
加藤秀太	人文学研究科	日本語学

目次

冀 月婷	母と娘の葛藤 ——蘇雪林『棘心』を中心に——	1
岸川 あゆみ	司馬遼太郎の東アジア観における台湾 ——『台湾紀行』を中心に——	19
冀 媛媛	明治期における「誰も」の否定共起に関する一考察	37
梶村 哲矢	ソポクレス『オイディプス王』におけるオイディプスと「知」 ——エウリピデス『バツカイ』を参考にして——	53
朱 莉	芥川龍之介と B. ラッセルの中国旅行記と魯迅 ——1920年代の中国苦力・下層階級の観察を中心に——	69
田 泰昊	1990年代の韓国アニメーションをめぐる言説と製作者の実践 ——劇場用アニメーション『アルマゲドン』(1996)の製作を中心に——	87
趙 書心	女性解放とレスビアニズムの間 ——『番紅花』における女性同性愛言説をめぐる——	103
劉 嘉勇	中国語の“被”構文の構文タイプ	119
塩田 宝澍	<i>Subodhāṅkāra</i> におけるサンスクリット修辞学書からの影響	137
山田 祐也	期間修飾句のタイプに合わせた意味記述の提案 ——事象投射理論による意味記述の発展を目指して——	153
南部 正裕	プラトン『プロタゴラス』における「大演説」とカムフラージュ	171
山内 昇	言語研究資料としての The Movie Corpus の可能性と留意点	185
加藤 真生	実践的学知獲得の場としての清国 ——北清事変における疾病経験と在清国軍医の給水研究——	203
鄭 悦	反転語「離脱・脱離」における通時的变化	219
王 雲姣	日本語の心理動詞のテンス・アスペクト的特徴による分類	235
盤 媛	雲南におけるオルタイの水利建設	251
矢越 藍子	嘆願劇における「憐れみ」と登場人物の行動の関わり	267
劉 士沢	現代中国語における“VA了”の表す結果義と乖離義 ——予期との関係性を中心に——	283
李 炯周	一七世紀の裁判役 ——対馬藩と朝鮮との外交折衝担当官——	297

孟 醒	中国語の語気副詞“反正”の文法化と主観化	315
王 会欣	中国語思考動詞“想”の多義構造 ——多義のあり方をめぐって——	331
龐 龍傑	前後文の関係と換言を表す接続詞の日中対照研究 ——“也就是說”と「つまり」の比較——	347
薛 晨	二音節動詞 XY から成る“X 个 Y”形式の成立条件及び語用論的特徴	365
楊 慶慶	後水尾法皇の隠元への帰依の背景 ——和歌や書簡等の分析を中心に——	377
曹 榮峻	動物的な身体性と感覚の復権を図る神話的思考 ——津島佑子『狩りの時代』試論——	393
陳 敏	理想化と抑圧のはざまを生きる女工 ——郁達夫「春風沈酔の夜」を再読する——	407
WANG Ying	Column, light and clouds in Titian's <i>Annunciation</i> in San Domenico Maggiore of Naples	419
GUTIÉRREZ CERVANTES, Lenin Emmanuel	Proletarian Short Poetry: The Class Struggle in the Poems of Carlos Gutiérrez Cruz and Tsuru Akira	435
高松 世津子	近世戒律復興における野中寺中興慈忍慧猛の事績と靈験について	(65)
市川 遥	「傷」を描くということ ——一九四〇年前後の軍人援護強化キャンペーンと傷痕軍人表象をめぐって——	(49)
高畑 早希	一九五〇年代の民話運動 ——雑誌『民話』をめぐって——	(35)
鬼頭 祐太	貝原好古『和爾雅』草木門における漢名と和名の対応について ——貝原益軒からの影響を中心に——	(17)
加藤 秀太	変体漢文のヨミに関する私見 ——読み上げという観点から——	(1)